



気づき・考え・行動できる子どもに

校長 金泉 隆一

イソップ物語に「三人のレンガ積み職人」というお話があります。
有名な話なのでご存じの方も多いかと思います。

世界中をまわっている旅人が、ある町を通りかかりました。その町で、教会を作るために、汗を流してレンガを積んでいる3人の職人に出会います。

旅人が一人目に出会った職人に、「何をしていますのですか？」と尋ねました。職人は面倒くさそうに、「何って、見ればわかるだろう。親方の命令で、レンガを積んでいるんだよ。朝から晩まで、俺はここでレンガを積まなきゃいけないのさ。あんたたちにはわからないだろうけど、暑い日も寒い日も、風の強い日も、日がな一日レンガ積みさ。腰は痛くなるし、手はこのとおりに。」と、ぶっきらぼうに答え、自らのひび割れ汚れた両手を差し出して見せました。さらに、「なんで、こんなことばかりしなければならないのか。もっと気楽にやっている奴らがいっぱいいるというのに・・・。」と、つらそうに話します。旅人は、つらそうに仕事をしている職人に、なぐさめの言葉を言って、その場を離れました。



旅人が、先に歩いていくと、二人目の職人に会いました。「何をしていますのですか？」と、旅人は同じように尋ねました。二人目の職人は、「ここに大きな壁を作っているんだよ。これが自分の仕事でね。」と、答えました。旅人が、「たいへんですね。」と、いたわりの声をかけると、「なんてことはないよ。この仕事のおかげで俺は家族を養っているんだ。ここでは、家族を養っていく仕事を見つけるのが大変なんだ。俺なんて、ここでこうやって仕事があるから家族全員が食べていくことに困らない。大変だなんていっていたら、バチがあたるよ。」と、答えました。うれしそうに話す職人に、旅人は励ましの言葉を言って、その場を離れました。

旅人がさらに先へ歩いて行くと、三人目の職人に出会いました。旅人は、「何をしていますのですか？」と、同じように尋ねました。「私はレンガを積んで、ここに歴史に残る大聖堂を作っているんだ！」と、答えました。旅人が、「たいへんですね。」と、いたわりの言葉をかけると、職人は、「とんでもない。ここで多くの人が祝福を受け、悲しみから解放されるんだぜ！素晴らしいだろう！」と、目を輝かせながら誇らしげに答えました。旅人は、誇らしげに仕事をする職人に、感謝の言葉を残して、その場を離れました。

このお話に出てくる三人のレンガ職人は、三人とも「レンガを積む」という、全く同じ仕事をしています。しかし、この三人の仕事に対する考え方や取り組む姿勢は、まったく違ってきます。

一人目は、レンガ積みがつらくて、不平不満だらけで仕事をしています。この職人からは、「やらされている」という気持ちを強く感じとれます。

二人目は、レンガ積みで家族を養っていけると喜んで仕事をしています。しかし、レンガ積みという仕事は、生活のためであり、もっと賃金のよい他の仕事であれば、レンガ職人にこだわっていないように感じます。

三人目は、歴史に残る大聖堂をつくっているという「誇り」をもってレンガ積みをしています。自分の仕事が、「世の中のためになっている」という誇りです。「未来のために仕事をしている」という希望をもっているのです。仕事をする目的意識や働く喜び、もっと言えば、生きる喜びが感じられます。

同じ仕事をする時も、考え方一つで、「幸福度は大きく変わる」「より素晴らしい仕事内容へと変わる」「まわりの人への影響も変わる」など、大きく変わってきます。そして、何より取り組む姿勢も変わってきます。深く考えさせられます。

子どもたちは、学校で、授業、学校行事、給食や掃除当番等やるべきことに取り組んでいます。しかし、時には「やらされている」感が見え隠れしたり、興味や感心が長続きしなかったりすることもあります。そのような姿に、教師である私たちは、「一方的に教え込むことに重点を置いていないか」「子どもたちに明確な目標をもたせていたか」「子どもたちが、自ら気づき、考え、行動させる機会を十分に設けていたか」など、考えさせられることがあります。

学校は、誰かに指示されてから行動する子どもではなく、叱られるから行動する子どもでもなく、

「自ら気づき・自ら考え・自ら行動できる子ども」に成長していけるよう、教職員一丸となって努力してまいります。

12月の予定

日	曜	行事予定	相談室	かへい キッズ	あいさつ 当番
1	土	土曜授業⑩ ふれあい動物教室(帝京科学大学主催)2・3校時 体育館 (2年) 投げ方教室3校時 校庭(3年)			3-1
2	日				
3	月			3~6	3-2
4	火	特別時程	○	1・3・5・6	
5	水	4時間授業		1・2・4	
6	木	特別時程 パワーアップタイムなし		2~6	
7	金	音楽会①	○	2~6	
8	土	音楽会②			
9	日				
10	月	振替休業日			
11	火	特別時程	○	1・3・5・6	3-3
12	水	オーケストラ鑑賞教室午前の部 西新井文化ホール(6年) 保護者会(低・全・高)特別時程		1・2・4	
13	木	パワーアップタイム エンジョイタイム⑦		2~6	
14	金	委員会活動⑧(5、6年)	○	2~6	
15	土				
16	日				
17	月	なわとびパフォーマンス出前授業(3・4・6年) エンジョイタイム(9月分)		3~6	2-1
18	火	特別時程 外国語校内研修授業(4年)14:05~	○	1・3・5・6	
19	水	特別時程		1・2・4	
20	木	社会科見学(6) パワーアップタイム		2~6	
21	金	学力調査(再) 学年行事(1年)5校時 体育館	○	2~6	
22	土				
23	日	天皇誕生日			
24	月	振替休日			
25	火	特別時程 冬休み前最終登校 給食終	○	1・3・5・6	2-2
26	水	冬季休業日始			
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

持久走記録会を終えて

6年担任 草間 優佳

11月14日に持久走記録会を実施しました。今年度は昨年よりも少し早い時期に記録会を行いました。2週間前から中休みには、らんらんタイム（5分間のランニング）に取り組み、本番で良い記録を出せるように練習してきました。気候も良く、暑い日も多かったので、汗を流して懸命に練習する姿が印象的でした。長距離を走ることが好きな児童もいますが、苦手な児童もいます。走る距離が長いので、苦しくなると自分の弱い気持ちに負けてしまいそうになることもあります。自分の気持ちとの戦いが走っている数分間にあるのです。今回の持久走記録会でも、泣きそうな顔になりながらも最後まで走り切った子もいました。また、一生懸命前を向いて走る子供たちの姿がたくさん見られました。参加した児童全員が最後まで走り切ることができました。この経験から、子供たちには辛いことに負けない、自分なりに大変なことを乗り越えられる子になってほしいと願っています。

道路の安全を確保するためにお手伝いしていただいた PTA の皆様を始め、おやじの会、保護者ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。また、多くの保護者の皆様に応援していただき、子供たちも力を発揮することができました。これからも、子供たちの体力向上に向けて、楽しく運動に取り組んでいきたいと思えます。

生活指導部より

12月の生活目標

力を合わせて掃除をしよう。



平成30年も残すところはあと1か月。感謝を込めてお世話になった校舎をきれいにします。教室、特別教室、靴箱、傘立て、掃除用具入れ、給食ロッカー、本棚等も隅々までみんなで協力して、きれいにしていきます。

いつでも、自然にできるように

生活指導主任 榊原 卓也

「おはようございます！」毎朝、昇降口では、子供たちの元気なあいさつが響き渡っています。昨年度から、加平小学校では、朝のあいさつ当番が始まり、毎週クラスごとにあいさつ当番を担当してくれています。とても気持ちの良いあいさつの声が聞こえてくると、「今日も元気なあいさつをしているなあ」と、職員室で仕事をしていても、子供たちの声に耳を傾けてしまいます。学年を越えて、笑顔であいさつを交わしている子供たちの姿を見ると、「加平小の子供たちって、素敵だな！」と感じます。

授業が始まり、静まり返った昇降口には、子供たちの脱いだ靴が、かかとを揃えて並んでいます。きちんと並んだ靴を見ると、子供たちの物を大切にできる優しい気持ち、ゆとりのある心、きちんとした姿を想像することができます。逆に、少し乱れていると、「どうしたんだろう…」とその子の事が気になってしまいます。子供たちを感じることができる加平小学校の昇降口を、職員みんなでもとても大切にしています。子供たちには、いつでも「加平小の良さを自然にできる人」であってほしいと思えます。

持久走記録会

さわやかな秋晴れの下、持久走記録会が行われました。練習の成果を発揮し、一人一人が自分のめあてをもって取り組みました。たくさんのご声援ありがとうございました。



1年生は初めての持久走、2年生は昨年のコースを思い出し、3年生は走る距離が長くなり、4年生は昨年の自分の記録を抜かせるように、5年生はさらに長いコースを、6年生は小学校最後の持久走を・・・

各学年一人一人精一杯頑張りました。

